



HEIWA PAPER



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 平和紙業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9929 URL https://www.heiwapaper.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清家 義雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理統括本部副本部長 (氏名) 和田 学 TEL 03-3206-8501
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,808	2.1	2	—	32	—	9	△98.8
2023年3月期第1四半期	3,729	1.7	△24	—	△2	—	780	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 185百万円 (△78.1%) 2023年3月期第1四半期 847百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	1.01	—
2023年3月期第1四半期	80.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	17,370	9,538	54.9
2023年3月期	17,565	9,409	53.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 9,538百万円 2023年3月期 9,409百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	5.8	122	△11.8	196	2.0	137	△84.3	14.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	10,116,917株	2023年3月期	10,116,917株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	657,395株	2023年3月期	657,395株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	9,459,522株	2023年3月期1Q	9,642,722株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2023年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが変更され、経済活動の正常化に伴う個人消費やインバウンド需要が回復基調にあることから景気は緩やかに持ち直しています。しかしながら、ウクライナ情勢や円安の長期化に伴う原燃料価格の高騰、物価上昇の継続による個人消費の鈍化や海外経済の減速といった懸念は続いており、景気の先行きは不透明な状況にあります。

紙パルプ業界におきましては、観光やインバウンド需要の増加から、衛生用紙に回復の兆しが見られるものの、印刷・情報用紙の構造的な需要減少や原燃料高騰に伴う価格改定による需要の冷え込みが続いており、紙・板紙での国内出荷量は、前年同四半期実績を下回りました。

このような中で当社グループは、事業の高付加価値化をターゲットとし、主力である高付加価値特殊紙の販売強化、観光、インバウンドやリオープン消費による需要が見込める高級パッケージや各種機能紙分野への注力、新規需要、新規顧客の獲得推進を進めました。製紙メーカーの事業再構築に伴う抄造設備の停機等による商品再構築局面での商品の高付加価値化を推進し、顧客満足度の向上と収益性の改善を図っています。引き続き脱炭素、脱プラスチック、SDGs等の社会要請に合致した商材の開発を進めるとともに、展示会、SNS等による継続的な情報発信、新規顧客及び新規需要の獲得を強化しています。原燃料の高騰による価格改定は概ね順調に進行しておりますが、それに伴う需要の冷え込み傾向が続いており、売上高においては販売単価の上昇もあり前年同四半期を上回りましたが、販売数量においては前年同四半期より減少しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高38億8百万円（前年同四半期比2.1%増）、経常利益32百万円（前年同四半期は経常損失2百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9百万円（前年同四半期比98.8%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりです。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去前となっております。

<和洋紙卸売業>

和洋紙卸売業は、構造的な情報伝達媒体のデジタルシフト、原燃料高騰に伴う価格改定による需要減少の影響が強く、販売数量は減少しました。しかしながら、販売単価の上昇や経済活動の正常化による個人消費や観光イベント事業等の国内需要の下支えもあり、主力である高付加価値特殊紙の販売金額は上向き、売上高は39億57百万円（前年同四半期比2.0%増）、営業損失は1百万円（前年同四半期は営業損失25百万円）となりました。

<不動産賃貸業>

不動産の売買、賃貸借、管理及び仲介で構成される不動産賃貸業は、概ね前年同四半期と同水準で、売上高は4百万円（前年同四半期比0.1%増）、営業利益は3百万円（前年同四半期比0.8%増）となりました。

(参考)

当社単体の和洋紙卸売業の営業成績

品目別	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)		増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンシーペーパー	797	23.1	787	22.0	△1.3
ファインボード	411	11.9	479	13.4	16.5
高級印刷紙	788	22.8	849	23.8	7.8
ベーシックペーパー	945	27.3	958	26.8	1.3
技術紙	466	13.5	450	12.6	△3.5
その他	50	1.4	47	1.4	△6.0
合計	3,459	100.0	3,572	100.0	3.2

[ファンシーペーパー]

多様な色、表面性、風合いを持つ高付加価値特殊紙のファンシーペーパーは、需要におけるコロナ禍の影響が縮減、書籍装丁用途や東アジア向けの輸出が堅調に推移しましたが、紙製品や紙袋用途が減少し、売上高は7億87百万円、前年同四半期比1.3%の減少となりました。

[ファインボード]

ファンシーペーパーの厚物(板紙)であるファインボードは、各種観光イベント事業の再開に伴い、化粧品・食品等の高級パッケージ向けの販売が回復し、売上高は4億79百万円、前年同四半期比16.5%の増加となりました。

[高級印刷紙]

独自の風合いを持ち、通常の印刷用紙より高価格帯の高級印刷紙は、商業印刷物用途の販売が安定し、出版物や紙製品用途が増加したことで、売上高は8億49百万円、前年同四半期比7.8%の増加となりました。

[ベーシックペーパー]

上質紙、塗工紙、色上質紙等の印刷用紙、包装用紙、各種パッケージ向け板紙等で構成されるベーシックペーパーは、書籍向けや医療品・化粧品パッケージ用途が堅調に推移しましたが、全体の販売数量は減少、販売単価の上昇に伴い、売上高は9億58百万円、前年同四半期比1.3%の増加となりました。

[技術紙]

通常の紙にはない特殊機能が付与されている技術紙は、各種工業品製造用工程紙や耐水撥水性機能紙の販売が堅調に推移しましたが、偽造防止用途や合成紙の販売が伸び悩み、売上高は4億50百万円、前年同四半期比3.5%の減少となりました。

[その他]

家庭紙、紙加工品、製紙関連資材等で構成される当区分では、製紙関連資材、紙加工品やペーパータオル等家庭紙の販売が減少し、売上高は47百万円、前年同四半期比6.0%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1億94百万円減少して、173億70百万円となりました。主な要因は、電子記録債権77百万円、商品1億43百万円、投資有価証券1億83百万円が増加したものの、現金および預金3億15百万円、受取手形及び売掛金2億75百万円が減少したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて3億23百万円減少して、78億32百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金1億23百万円、未払法人税等1億24百万円、賞与引当金1億5百万円が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて1億28百万円増加して、95億38百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金1億27百万円が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年5月10日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2024年3月期の連結業績につきましては、以下のとおり見込んでおります。

売上高	17,000百万円	(前期比	5.8%増収)
営業利益	122百万円	(同	11.8%減益)
経常利益	196百万円	(同	2.0%増益)
親会社株主に帰属する当期純利益	137百万円	(同	84.3%減益)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,072,938	2,757,572
受取手形及び売掛金	3,831,468	3,556,369
電子記録債権	1,491,553	1,569,238
商品	3,962,048	4,105,692
貯蔵品	49,557	50,093
その他	88,562	146,983
貸倒引当金	△18,351	△20,502
流動資産合計	12,477,775	12,165,447
固定資産		
有形固定資産	1,953,389	1,942,331
無形固定資産	40,044	42,541
投資その他の資産		
投資有価証券	2,438,886	2,622,443
長期預金	300,000	300,000
その他	357,056	299,700
貸倒引当金	△1,959	△1,959
投資その他の資産合計	3,093,983	3,220,184
固定資産合計	5,087,417	5,205,057
資産合計	17,565,193	17,370,505

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,623,140	4,499,385
短期借入金	2,371,471	2,365,244
未払法人税等	134,453	9,980
賞与引当金	136,100	30,207
その他	277,427	239,950
流動負債合計	7,542,594	7,144,768
固定負債		
退職給付に係る負債	255,220	257,103
資産除去債務	70,451	70,753
繰延税金負債	234,169	306,362
その他	53,029	53,425
固定負債合計	612,870	687,644
負債合計	8,155,465	7,832,413
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,107,843	2,107,843
資本剰余金	2,331,387	2,331,387
利益剰余金	4,605,132	4,557,959
自己株式	△293,972	△293,972
株主資本合計	8,750,391	8,703,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	555,612	683,317
為替換算調整勘定	103,723	151,555
その他の包括利益累計額合計	659,336	834,872
純資産合計	9,409,728	9,538,091
負債純資産合計	17,565,193	17,370,505

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,729,562	3,808,480
売上原価	3,007,390	3,013,509
売上総利益	722,171	794,970
販売費及び一般管理費	746,676	792,462
営業利益又は営業損失(△)	△24,505	2,508
営業外収益		
受取利息	1,731	1,685
受取配当金	33,098	29,012
為替差益	1,382	390
助成金収入	10,151	—
その他	952	7,730
営業外収益合計	47,316	38,819
営業外費用		
支払利息	1,769	5,533
売上割引	858	938
休業手当	22,197	—
その他	478	2,071
営業外費用合計	25,304	8,543
経常利益又は経常損失(△)	△2,493	32,784
特別利益		
固定資産売却益	1,133,083	—
特別利益合計	1,133,083	—
特別損失		
固定資産除売却損	1,687	72
特別損失合計	1,687	72
税金等調整前四半期純利益	1,128,902	32,712
法人税、住民税及び事業税	45,118	3,438
法人税等調整額	303,162	19,688
法人税等合計	348,281	23,127
四半期純利益	780,620	9,584
親会社株主に帰属する四半期純利益	780,620	9,584

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	780,620	9,584
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,808	127,704
為替換算調整勘定	59,676	47,831
その他の包括利益合計	66,484	175,536
四半期包括利益	847,105	185,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	847,105	185,120

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	和洋紙卸売業	不動産賃貸業	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,726,931	—	3,726,931	—	3,726,931
その他の収益	—	2,631	2,631	—	2,631
外部顧客への売上高	3,726,931	2,631	3,729,562	—	3,729,562
セグメント間の内部売上高又は振替高	154,087	2,135	156,223	△156,223	—
計	3,881,019	4,766	3,885,785	△156,223	3,729,562
セグメント利益又は損失 (△)	△25,778	3,823	△21,954	△2,550	△24,505

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△2,550千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	和洋紙卸売業	不動産賃貸業	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,805,843	—	3,805,843	—	3,805,843
その他の収益	—	2,637	2,637	—	2,637
外部顧客への売上高	3,805,843	2,637	3,808,480	—	3,808,480
セグメント間の内部売上高又は振替高	151,303	2,135	153,439	△153,439	—
計	3,957,147	4,772	3,961,919	△153,439	3,808,480
セグメント利益又は損失 (△)	△1,554	3,854	2,300	207	2,508

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額207千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。